

夏原の恩人 高橋社長を深掘り!

現社長が専務を務めていた時代から夏原を支え続けてくださっている、京都高建株式会社の高橋社長。大手の下請けとして腕を磨いて独立された後、どのような経緯で夏原とかかわりを持つようになったのか。20代から現在までを振り返っていただきました。会社へのメッセージには、長年見守ってきたからこそその熱いエールがにじみます。



京都高建株式会社 代表取締役社長 **高橋 正さん**

高橋社長のプロフィール

経歴

25歳～34歳の約10年間、オクジューという会社の下請けにあたる内装業者の会社に勤務し、親方の下で現場の仕事を学びました。35歳で個人事業主「高橋建装」として独立した頃に夏原さんを紹介され、以降夏原さんの下請けに。その後、44歳頃に京都高建を設立しました。現在は現場から退き、この10年は社長業に専念しています。

生年月日 1969年7月16日 54歳

趣味 神社仏閣めぐり・旅行



お気に入りの
お寺は
「同聚院」です!

休日の過ごし方

私の祖神様が不動明王なので、それがまつられているところを訪れたり、妻と食事や旅行に出かけたりします。また、親から暴力を受けた子どもが集まる児童養護施設でのボランティア活動もライフワークの1つです。施設の敷地内に芝桜を咲かせるために、皆で雑草引きや苗を植える作業などをしています。

最近のプライベートの思い出

経営者仲間たちとは、月に一度飲み会を開いて交流しています。色々な業界で活躍する熱いメンバーたちとぎっくばらんに意見交換できるのが一番の楽しみです。



夏原との出会い

前職で出会った 夏原出身者が繋いだ縁

オクジューの下請けで働いていた頃、短い間でしたが夏原出身の方と現場を共にしていました。私が35歳で独立して間もない頃に、その方が私に、「仕事が足りないなら」と夏原さんを紹介してくれることになり、下請けとして入るようになります。当時はまだ前社長がトップで、現夏原社長が専務。当時と比べて、今は社風も技術力も相当向上したと感じています。

夏原との歩み

「崇介社長を守る」と 決意して20年の付き合い

私は、夏原さんの仕事をいただくようになって1年半ほどは、当時の社長や番頭さんたちの現場を任されていました。その後、大阪の「長柄(ながら)」というパチンコ屋の内装を任されたときに初めて、現場を管理する崇介社長と顔を合わせました。ただ、当時の崇介社長は、大阪から京都へ何度も材料を取りに行っており、夜にはフラフラ。疲れきって車で寝ている姿を見かねて声を掛けると、「大変だ」と現状を嘆いていました。当時は今とは違って、昔気質の職人さんたちに振り回されるのが日常だったようです。「どうしたら楽になれるだろうか」と聞かれたので、私は「良い職人が付いてくれることだ」と答えた上で、「お前の仕事はうちでやってやる」と伝えました。この業界は、いくら仕事を取ってきても、現場を回す職人がいなければ成り立ちません。私が役に立てるならと、下請けを買って出たのです。そこからは、「崇介社長を守る」という意識で夏原さんの仕事に専念。気がつけばこの関係が20年続いています。



外から見た夏原の魅力・強み

職人同士のまとまりと 大手の現場で磨いた技術力

新メンバーが増え、職人同士のまとまりが強くなったと感じます。また、大手の下請けに入るようになった十数年前から、全体の技術力がグンと向上し、若手の成長も著しい。20年前を思い返すと、職人同士の仲は今ほど良くなくバラバラでした。また、業界トップクラスのオクジューの下請けとして大手の現場で腕を磨いてきた私から見ると、技術力も頼りなく感じたのを覚えています。現在は、規模も大きくなり、年間を通して安定的に仕事が取れる頼もしい企業になりました。現場のことは、崇介社長と私で話し合っ決めて、私たちが指示を出しています。



崇介社長の成長

会社の未来を 一番に考えるリーダー

崇介社長とはときどき食事に行く間柄で、年上の私が相談を聞くかたちで、「今後会社をどうしていけば良いか」と話しています。会社の規模にかかわらず、社長になると相談相手も限られてしまい、孤独になりがちです。しかし、私には何でも話してくれるので、少しでも支えになればと思っています。崇介社長は、代替わりしてからさらに自覚が芽生え、大きく成長しました。常に会社の未来を考えて、「社員・職人を守らなければ」という強い意思が伝わってきます。



夏原の皆さんへメッセージ

県外にも名を轟かせる 団結力のある企業に

夏原さんの仕事を任されている職人の皆さんには、さらに大きな仕事ができるように一致団結していただくと、会社の未来も明るくなると思います。崇介社長には、京都一の座に満足することなく、さらに高みを目指すことを期待します。

**これからも2社でタッグを組んで
頑張っていきましょう!**

高橋社長への感謝

京都高建株式会社の高橋社長。これまで印象深い出来事やお世話になったエピソードがある方も多いはず。今回は、そんな高橋社長への「ありがとう」の気持ちを込めて、7名の方から感謝のメッセージをお届けします！

- 1 お世話になったエピソード
- 2 高橋社長へのメッセージ

夏原株式会社 代表取締役 夏原 崇介さん

- 1 私が夏原株式会社に入社してすぐは、私の現場に来てくれる職人さんがほとんどいない時代でした。「現場に来てくれても、誰も言うことを聞いてくれない」というどうしようもないときに助けてくれたのが、高橋さんでした。「お前のことは俺が守ってやる！」と言ってもらったことは一生忘れません！
- 2 高橋さんとの出会いが私の人生と夏原株式会社の未来を変えてくれました。言葉では表せないほどの感謝の気持ちでいっぱい。これからは私が恩返しをして、高橋さんと京都高建株式会社を守っていきます！これからも末永くよろしくお願いいたします。

営業部 主任 熊谷 健一さん

- 1 不器用で要領も悪く失敗ばかりする私を決して見捨てることなく、ずっと変わらない熱い気持ちで育ててくれました。高橋社長への感謝とご恩が尽きることはありません。道を踏み外した私ですが、また拾い上げてくださったため、これから少しずつでも恩を返していけたらと思います。本当にありがとうございます。
- 2 いつも成長するきっかけを与えてもらっていると思います。私の成長は決して早くはありませんが、「会社のために」という気持ちはブレずに持ち続けるので、これからもよろしくお願いいたします。

服部建築 服部 亜輝良さん

- 1 最初の頃は意識が低く休みがちだった自分を最後まで見捨てず、向き合ってくださいました。「ここで変わらなければ一生変わらないままだ」と話してくださいました。自分自身の行く末が変わったと感じる瞬間でした。感謝してもしきれません。
- 2 これまで以上に環境に甘えず、安全に確実な仕事を意識していきます。これからもよろしくお願いいたします。



山崎建築 山崎 明さん

- 1 新人が入っても、なかなか継続して勤務してもらうことができず、大変辛い思いをしたときに、優しい言葉で励ましてくれました。本当にありがとうございます。
- 2 感謝の一言です。これからも見守ってください。



中島建築 中島 靖嘉さん

- 1 仕事面ではもちろん、ボランティア活動や人としての生き方など、幅広いアドバイスをいただき、とても心に響きました。期待に応えられるように日々感謝し、精進してまいります。
- 2 お世話になってばかりですが、1日1日成長できるように、精進いたします。これからも熱いご指導よろしくお願いいたします。



沼崎建築 沼崎 伸也さん

- 1 義理人情が厚い「昭和な」社長で、同じ現場で仕事をさせてもらっているときにも、私の気持ちが落ち込んだときにはいち早く気づき、声をかけて気持ちを持ち上げてくださいます。周りの動きや精神面も全て見ながら支えてくれる、尊敬する社長です！
- 2 社長がいなかったら「本当に自分はダメだっただろう」と強く思います。今の自分があるのは社長のおかげです。感謝しかありません。いつも私達のことを思って色々勉強させていただきありがとうございます！これからも向上心を忘れず頑張りますので、よろしくお願いいたします！

沖元内装 沖元 祐主さん

- 1 最初にお会いした頃、下地のことは全くの無知だった私に対し、事細かに教えていただきました。高橋社長にお会いしていなければ、軽天がこんなに深く楽しい仕事だということもわかりませんでした。まだまだわからないことがあり、一人前と胸を張って言えるには程遠いですが、今の私がいるのは、高橋社長が親身になって教えてくださったのおかげです。ありがとうございます。
- 2 私が高橋社長と出会って、10年以上になります。昔ほど怒られたり迷惑をかけたりすることも少なくなってきました。これも高橋社長が私のことを見捨てず、何とかしてやろうと思ってくださったのおかげだと思います。これからは、他の仲間と共に高橋社長と京都高建を大きくしていきたいと思っています。恩返しの気持ちで頑張っていきますので、これからもよろしくお願いいたします。



心得浸透企画

人間性編



なつはら そうすけ
夏原 崇介 社長

皆が気持ちよく仕事に取り組むために意識してほしいという思いから決まった「人間性」という項目。どのような行動を目指すべきなのかを確認し、ぜひ普段の姿勢に取り入れていきましょう！

人間性

- 来客・社外の方も含め率先して挨拶をし、ハキハキと返事もしている
- 嘘やごまかしで責任転嫁をせず誠実にしている
- 失敗や過ち、自分にとっては都合の悪いことも隠さず正直に報告している
- 社会、会社、現場のルールを守っている（喫煙ルール、提出書類、打刻、期限など）
- 社会人としてのマナーを心掛け、社外の方と接している



各小項目を定めた背景と理想の姿

小項目に関しては各部門、それぞれの代表の方に考えていただきました。「10項目くらい出してくれると嬉しいな」と思っていたのですが、実際には17項目もの候補が。皆さんがしっかりと意見を出してくれたことが伝わりました。社内外問わず挨拶をすることや、ミスをごまかさないうことなど、小項目にも記載してある内容を実践し、「一緒に仕事をしたい」と思われる人で溢れる会社になることが理想の姿です。



夏原社長が見た！

「人間性」に優れた行動



私が評価しているのは、西浦さんの行動です。後輩への指導がいつも丁寧で、物腰の柔らかい接し方をしてくれています。明るく優しい態度でコミュニケーションを取ってくれる先輩がいると、後輩も質問がしやすいはず。そのような雰囲気を作り出しているところが素晴らしいと思っています。ぜひ皆さんも、明るく笑顔でコミュニケーションを取ることを心掛けてください。

改善してほしい行動

現場の仕事では、社員と下請けの方といった立場の違いや、日本人と外国人といった文化・言葉の違いがあります。そのような違いを妬んで強く当たったり、悪く言ったりしている人がいるようです。自分が言われる立場だったらどう思うでしょうか？自分かもしれないと思ったあなた、この心得を踏まえてもう一度自身の言動や行動を振り返ってほしいと思います。

